Rotary International District 2570

GOVERNOR's MONTHLY LETTER

1st October, 2012 Vol.4

Peace Through Service
Sakuji Tanaka
Rotary International President 2012-13

ロータリーの源流は職業奉仕

職業奉仕部門委員長
細井　保雄

高校生社会体験活動委員長
五十嵐　敦子

職業奉仕委員長
田代　充雄

職業奉仕・米山月間

国際ロータリー第2570地区　2012～2013年度
ガバナー月信 2012年10月1日**第4号**

RID 2570 SAITAMA / JAPAN
いいね ふくよ

■ガバナーメッセージ

鈴木　秀憲

他人（ひと）の為に、自分は犠牲になるのか？他人の為は、自分の犠牲の上に成り立つのか？昔からのクエスチョンです。

他人の為は、自分の為になるのか？　私は「他人の為は、結果として自分の為にもなっている」と考えます。もう少し詳しく言えば「他人の為は、他人の為になり、結果としては自分の為にもなっている」、という事であると思います。

今月は職業奉仕月間です。職業奉仕について考えてみましょう。

職業奉仕にこそ、前述の「他人の為は、他人の為になり、結果としては自分の為にもなっている」という言葉が当てはまると私は考えます。

私は、職業奉仕を一言で言うなら「自分と自分の職業を磨く事」と申し上げています。この言葉の後段「自分の職業を磨く事」は、いわゆる「業界団体（例えば埼玉県〇〇業協会とか全国〇〇業協会連合会等）や企業」の行動指針と変わりないと思われます。先述の「他人の為は、他人の為になり、結果としては自分の為にもなっている」の後段も、業界団体や企業の目指すところでしょう。

職業奉仕は業界団体と同じですか?

入間 RC 公式訪問にて

しかしロータリーと、この「業界」とが決定的に異なる点は、前段「他人の為」があるか無いかという事だと思います。私の申し上げる「自分と自分の職業を磨く事」でも同様に、前段即ち「自分を磨く」があるか無いかで、ロータリーと業界との違いになると思います。

勿論、業界の中にはこの事に気が付いて、「お客様の為を思い」とか「世間との共生・地域社会と共に」を掲げ、本気で実践している団体もあります（口先だけで唱えている団体や企業も見受けられます）。

それはともかく、ひたすらお客様と世間の為を思って常にレベルアップを図る事に徹すればこそ、途中で苦しい事や厳しい事が多々あるものの、その努力が実りお客様の為になり、結果として必ずや自分の為にもなると考えます。

「綺麗事ばかり言っている」と、お叱りを受けそうですが、この点が極めて重要であると考えています。

よく「ロータリーに魅力がない」とか「自分の本業が厳しいから」という理由で、ロータリーを去る方がおられます。そのような時にこそ、職業奉仕について考え、実践（この実践する事が一番大切です。理念だけでは結果は現れません）されることを願ってやみません。

ロータリーの綱領をお読み下さい。――この綱領と言う言葉が分かりにくい。「綱領」を「目的」に読み変えてみてください。

ロータリーの綱領の多くを、職業奉仕が占めています。ここにロータリーの神髄があるということでしょう。

ロータリーの源流は、職業奉仕

職業奉仕部門委員長　**細井　保雄**（行田さくら）

第１回職業奉仕部門セミナーには、多数のご出席を頂きましてありがとうございました。

創立当初におけるロータリーの目的は事業上の利益の促進と会員同士の親睦でありました。1908年にシカゴクラブに入会したアーサー・フレデリック・シェルドンは、当時誰もが考えつかなかった奉仕理念をロータリーに提唱しました。ロータリーがこれを採択したことによって、その後華々しい発展を遂げることになります。ロータリーの職業奉仕理念は、シカゴクラブ会員、アーサー・フレデリック・シェルドンが提唱したものであり、その内容は修正資本主義に酷似した企業経営理論に基づいた純粋な経営学であることです。

「He profits most who serves best」に基づくサービスの概念を科学として捉え、それを体系的に教えることが1902年にシェルドンが設立したシェルドン・ビジネス・スクールの方針でした。顧客に満足を与える具体的経営方法、それは、結果として高い職業倫理に繋がるというものでした。

ロータリーのもう１つの奉仕理念を現す言葉は、“Service above self（超我の奉仕）”です。“Service above self”の原型となる言葉は、“Service not self”であり、このフレーズは1911年フランク・コリンズが即興演説したものです。コリンズはこのスピーチをするに当って事前にシェルドンを訪ね、“He profits most who serves best”と整合性を図っていたという記録があります。このことからロータリーの源流が職業奉仕であると思われます。

今年度は、このような点を皆様と学んでまいりたいと思います。

鈴木ガバナーからは「自分と自分の職業のレベルアップをこのように行っている」、又は「レベルアップはこのように行いたい」という会員の声をまとめてほしいといった提案がありました。それを受け、昨年作成した地区版「我等の生業」を、今年は鈴木ガバナーの「レベルアップ」をテーマに取り入れてアップグレード致します。多数の会員の皆様の寄稿をお待ちしております。

高校生社会体験活動は埼玉県への協力事業です。多くのロータリアン企業の協力により退学率が著しく減少しました。今年もご協力よろしくお願いします。

第２回のセミナーを2013年2月3日（日）国立女性教育会館で開催致します。各クラブの会長、職業奉仕委員長のご出席をお願いします。

■米山記念奨学会

双方にとってすばらしい財産

米山記念奨学部門委員長　**井上　豊**（秩父）

（財）ロータリー米山記念奨学会は、高い志を持って日本に在留している留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給する奨学団体です。将来母国と日本の懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を支援することを目的としています。

米山記念事業の歴史は古く、昭和27年東京ロータリークラブが奨学事業の構想を立案し、翌年から募金が開始されました。昭和32年からは、国内全クラブの合同事業として、全国組織として継続されています。（詳しくは米山記念奨学事業「豆辞典」など）

米山奨学生に選ばれる学生は、今年度までは年間800人（来年度は700人）。日本国内の奨学資金団体としては、事業規模・採用数ともに民間最大です。

本年度第2570地区では、23名に支援、23クラブに「世話クラブ」となって頂いています。

米山奨学生に選抜された留学生は、世話クラブの例会に月に一度出席し、ロータリー会員と積極的に交流して国際交流・相互理解を深めるとともに、ロータリーの奉仕の心を学びます。

ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度により奨学金による経済的な支援だけでなく、深い交流と精神的ケアを重視しています。

奨学生の一人ひとりに、地区内クラブから世話クラブが選ばれ、ロータリーとの交流が始まります。さらにその会員の中から１名のカウンセラーが選ばれて日常の相談役となり、奨学生の生活が心豊かなものになるように配慮されています。

様々な職業や世代で構成されるロータリークラブでの交流は、奨学生が日本文化に接し、将来や奉仕について考える機会が増えます。例会に参加し、地域の奉仕活動を体験できるのもロータリーならではのことで奨学生にとって米山記念奨学金制度はかけがえのない経験になると同時に、ロータリアンにとっても、米山記念事業の意義を実感し、理解を深める機会となります。奨学生とロータリアンの交流は、相互理解のみならず、双方にとってすばらしい財産となるものであると確信しています。

10月は、米山月間です。米山記念奨学事業にご理解とご協力を心からお願い致します。

９月８～９日　米山記念館見学研修会・米山記念館前にて

■社会奉仕セミナー

被災遺児に学業継続を

社会奉仕部門委員長　**木藤　文雄**（坂戸）

平成24年９月１日（土）、狭山市勤労福祉センターで第１回社会奉仕部門セミナーが開催されました。講師には第2790地区織田吉郎パストガバナー、鈴木ガバナー、西川パストガバナー他多くの地区役員を迎え、支援委員会と地区事業委員会の活動報告がありました。後半は本年度の社会奉仕部門の主活動にしている東日本大震災の被災孤児の学業維持を目的とした「ロータリー希望の風奨学金」の講演がありました。

議題１　社会奉仕部門事業活動　社会奉仕部門委員長　木藤文雄

東日本大震災の悲劇を風化させず被災孤児の支援を継続してほしい。講演を聴き支援連絡協議会を理解して継続の必要性をクラブ会員に伝えてください。

第2770地区と協力して進める「ブライダル活動」及び「さきたま古墳群を世界遺産に」の事業に協力を願います。また、同地区提唱の「埼玉打ち水大作戦」が７月中旬から８月中旬にかけて川越、熊谷、入間、東松山、行田等で実施され温暖化防止の省エネ啓蒙運動ができた。伸び悩むアイバンクの献眼登録者の拡大を目指す活動を続けます。

議題２（1）クラブ支援委員会事業　小久保富夫

地区内クラブに桜の苗木を提供します。各クラブで地域の人達と植樹することでコミュニケーションが図られ、ロータリーの認知度を高め、社会奉仕事業が活発になることを目的としました。第２回のセミナー（平成25年３月予定）で配布します。

議題２（2）アイバンク事業　花家　孝之

アイバンク運動のCDが各クラブに送られていますので活用して下さい。今年度は未登録クラブをなくす活動をしますので、該当クラブは卓話に招いてください。今後とも強力な支援を願います。

議題３　地区事業委員会全体説明　新井　啓介

地区を挙げての事業として「世界遺産登録推進」と「ブライダル事業」を第2770地区と協力して行う。埼玉全域で行うことで各事業とも活性化します。会員各位の協力を願います。

議題３（1）世界遺産登録推進事業　小菅　克祥

登録推進を推し進めるため、CDを製作しました。これを見て「さきたま古墳群」のすばらしさを理解して頂き、登録推進活動にご協力下さい。

議題３（2）ブライダル事業　醍醐　治江

第2770地区と協力し「ブライダルパーティー」を開催。お互いの身元がしっかりしているので安心したパーティで、結婚を望む男女の素晴らしい出会いの機会です。ロータリアンのご子息、推薦できる人達を登録してください。年２回のパーティー（両地区で）と毎月、相談会とミニパーティーを開催。

講演　「ロータリー希望の風奨学金」

第2790地区PG　織田　吉郎様（銚子RC）

織田講師は「ロータリーの友」８月号横組P22～P27に12地区合同プログラムとして活動状況を掲載しました。

東日本大震災の被災遺児の「学業の継続」を目的に10地区のガバナー会で「東日本大震災支援委員会」を設立。約10億円の義援金のうち、見舞金配分残金４億５千万円で奨学金制度を設立した。設立前は義援金の地区配分と将来を担う青少年への教育環境改善に使うべきと意見が二分しました。そのような中、東京ロータリー設立３年後に発生した関東大震災後の支援方法に学びました。それは次世代を担う子供達の援助でした。

委員会は賛同10地区だけで発足しましたが、現在は13地区と日台Ｒ親善会議他２団体の賛同・協力を得ています。奨学金は大学生、院生、短大生、専門校生の80名に月額５万円給付。次年度は92名になり今後受給者が増加見込み。これから７～８年の給付を考えると会員各位の長い支援を必要とします。

最後に「ロータリーの友」に掲載された給付者の感謝の手紙を読み上げられ、会場の会員は感動を得ました。

【支援連絡先及び口座は「ロータリーの友」８月号に掲載されています】

講師への謝辞と総括　西川　武重郎PG

織田講師は委員会設立時に委員長、現在は会計責任者として活躍されています。ご多忙の中セミナーの講師をして頂いたことに、謝辞を述べました。

読売新聞の「日時計」に掲載された、津波で両親と姉を亡くした少女の記事を見て、多くの読者から寄付の申し出があったこと、また川越の画家がその記事に感動し写真に掲載された少女の絵を描いてくれたことなどを話されました。

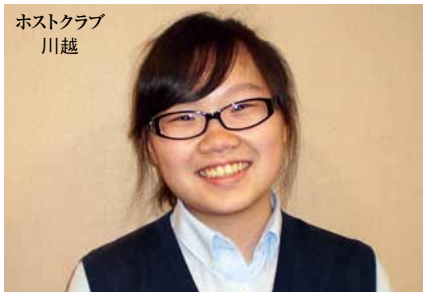
【詳細は月信第２号に「読売新聞・川越支局長からの手紙」として掲載】

青少年交換学生第43期生　開講式

新世代部門青少年交換委員長　**宮原　克平**（志木）

８月26日午後２時より猛暑のなか、志木駅前丸井８階会議室にて開講式を行ないました。派遣候補生4名・来日学生６名、及び父兄・ホストファミリー・委員・ROTEX等関係者45名が参加、来日学生には当日朝８時に成田着、直行で参加した来日学生もおりました。残念ながら鈴木ガバナーは他の公式行事と重なり欠席されましたが、担当諮問委員の鈴木PGより候補生に貴重なアドバイスを頂き、来日・派遣と２グループに別れて会議を行い、予定時間をはるかにオーバーし、外の気温に負けないくらい熱い会議となりました。

張　喬（Chiao Chang）



私の名前は張喬です。Joyと呼んでください。台湾の3480地区、台北の木蘭社から来ました。12月6日で17歳になります。私はいつも笑顔を絶やしません。そしてとても楽観的です。

一番は日本語をもっと上手に話せるようになりたいです。他にも、ホストファミリーや学校の友達と仲良くなったりできるようにしたいです。

これから一年間お世話になります。どうぞよろしくお願いします。

洪　巧恩（Chiao En-hung）

私の名前は洪巧恩です。タクミとよんでください。台湾から来ました。台湾の台北市で生まれました。東京は台北とおなじく大都市です。誕生日は8/29です。私は気軽に何事もできる人です。私はこの一年間で沢山のことをしたいです。例えば沢山の日本人の友達を作ること、そして日本語を上手に話したいです。なので、私は夢に近づくために勉強を一生懸命やります。どうぞよろしくお願いします。

Thaylakatharyna Batilochi Bizarro

I arrived on 23/08. On the first weekend, I met other exchange students, who had arrived in the same week as me at district meeting (orientation).

In the first week of September began my classes. I won two books great from my school, and I'm already starting to talk some things, and read Hiragana.

Eric Seiti Sagra

My name is Eric, I born in Fernandopolis, Brazil at September 11, 1994. I like physical education and dance.

In Japan I want to make a lot of friends and enjoy the most here.

Almeida Navarro Diego Alejandro

僕はメキシコ、ナリアット州の首都であるテピック市からまいりました。

僕の最も興味のあることはたくさんの人々と会いたくさんの文化に触れることです。又、いろんな言葉を学びたい。１年の交換留学の経験でいろんなゴールをゲットできると思います。１年間、本庄東高校に通います。よろしくお願いいたします。

Nurani Salikha

わたし の なまえは ヌラニ　サリハ です。 みんなは ルニ と よびます。 いんどねしあ から の りゅうがくせい です。 1996 ねん 2 がつ 16 にち うまれの 16 さい です。

にほん　で ゆき と さくら を みる こと と どらやき を たべる こと を　たのしみ に しています。

会長：西澤　長次　幹事：小川　正幸

鈴木ガバナーの卓話では、「職業奉仕はロータリーの基本である」、「いい風ふくよ」というテーマに至った経過など貴重なお話を頂きました。総評では丁寧でわかりやすいお言葉を頂き、ガバナーの気さくなお人柄に接しながらの貴重な時を過ごさせて頂きました。鈴木ガバナーの下で活動できる喜びを感謝し、有意義で充実した内容の「公式訪問」でした。クラブとしても更なるロータリー活動に日々邁進し頑張ってまいります。

会長：徳間　寛子　幹事：佐山　慶子

笑顔を絶やさない気さくなお人柄で、奉仕への真面目さ、女性会員に門戸を開け尊重する紳士的姿勢、歴史と伝統を誇りとしているが新しい形を取り入れる柔軟性、自分磨き・企業磨き、毎日のレベルアップのスパイラル、郷土への愛着、強い意志。勇気の湧くたくさんの言葉を頂戴しました。親しく話をさせてもらう事でリラックスでき、私たちのクラブ自慢や新人会員の話など、ガバナーにたっぷりと聞いて頂きました。感謝。

会長：柴﨑　正　幹事：川澄　英明

和やかな懇談では、寄居RCの45年の歴史や恵まれた自然環境が話題の中心になり、出席した新入会員への励ましの言葉、会長幹事へも貴重なアドバイスがありました。

３階の例会場では、左右の広々とした窓から、町並みの向こうに緑の山々と白い雲を浮かべた青空が広がり、この明るい例会場は羨ましいとのお言葉を頂き、改めて、永年会場を提供下さっている銀行に深い感謝の念が呼び起こされました。

会長：森田　輝雄　幹事：龍山　利道

８月23日、まず、会長・幹事との懇談が行われ、クラブの現状や将来について意見が交わされました。続いて、入会３年未満の新入会員を交えて、ガバナーより貴重なお話を伺いました。

記念卓話の中で、自分と自分の仕事を磨く「職業奉仕」、地域社会活性化を目指す「社会奉仕」、世界平和を願う「国際奉仕」、そして次世代の若者を育てる「新世代育成」の基本を大切にしていこう、とのお言葉が印象的でした。

会長：石井　彰　幹事：並木　孝喜

８月24日(金)も、地区最南端市は熱暑の一日でした。会長・幹事、入会３年未満３会員の両懇談会のあと、臨時に大型扇風機を設置した例会場に移りました。クラブ協議会では、各委員長・全会員の発表する活動方針について、具体的で適切なコメントを頂きました。

懇親会では、世界遺産キャラバン隊の受入れ計画が具体化、極彩色の特製歓迎幕が評判を呼んだりと夜遅くまで話題が沸騰し、和やかで充実した一日でした。

会長：小松　政敏 幹事：後閑　純一

定刻17時より、会長・幹事懇談会、３年未満会員懇談会、通常例会(ガバナー卓話を含む)、クラブ協議会と予定通りに議事を完了しました。

ガバナー卓話では、会員の退会防止と新会員増強を中心に経験に裏打ちされた貴重なお話しを頂きました。また、その他の会議でも適切な助言を頂きました。

当クラブからは、各クラブが共通で使える会計システムを地区で作って欲しいとの要請をしました。

会長：平野　賢治　幹事：安野　正樹

去る8月28日、鈴木ガバナー、前嶋ガバナー補佐、湯本、五十幡地区副幹事にお越し頂き、公式訪問例会を開催致しました。

少し緊張した雰囲気のスタートでしたが、鈴木ガバナーのお人柄に触れるうち、すぐに和やかなムードへと変わりました。また卓話においては、「奉仕の追求」についての噛み砕いたお話を頂戴し、実にいい風が吹いた例会となりました。誠にありがとうございました。

会長：発智　金一郎　幹事：福山　健朗

鈴木ガバナー、竹間ガバナー補佐、持田・湯本地区幹事をお迎えしてガバナー公式訪問が行われました。３年未満の会員がいないため会長、幹事と鈴木ガバナーとの懇談を行い、例会場にて記念撮影、食事をして例会に入りました。

例会の後半に鈴木ガバナーの卓話を拝聴し、クラブ協議会では、小人数のクラブのあり方等を指導しいて頂き、懇親会では鈴木ガバナーと膝を交えてのお話ができ、有意義な公式訪でした。

会長：田代　充雄　幹事：古屋　一生

9月3日(月)、鈴木ガバナー、前嶋ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会が開催されました。当日は会長、幹事との懇談後、３年未満会員３名をも交えてお話を聞くことができました。

例会では、今年度のガバナー方針を詳しくご説明頂き、会員一同職業奉仕がロータリー活動の基本であることを再認識致しました。クラブ協議会では各委員会の発表後、丁寧で、貴重なアドバイスを頂き、有意義な公式訪問となりました。

会長：宮寺　守正　幹事：新井　道夫

9月4日(火)午前中は、会長・幹事、入会3年未満の会員との懇談会を行ない、それぞれの会員の話を良く聞いて下さり、午後の例会時のガバナー卓話では、自社の例を挙げわかり易く、奉仕の追求並びに本年度の方針等をお聞かせ頂きました。クラブ協議会では各委員会の発表に丁寧なアドバイスを下さり、例会終了後の懇親会は、終始ガバナーの親しみ易いお人柄に和やかな雰囲気の内に終了致しました。

会長：吉永　章子　幹事：齋藤　栄作

9月6日、会長幹事との懇談後、入会3年未満の会員を含め充実した懇談会が行われました。昼食後、入間RC独自のロータリー美術館を鑑賞して頂き、公式訪問例会に続いて、第3回クラブ協議会が開催され、ガバナーより講評を頂いた後、ガバナーとの会員全員によるティーパーティーを開催。今後の地区の運営に対して等の活発な質疑応答が行われました。緊張の中にも和やかな素晴らしい時間となりました。

米山記念奨学生に日本の文化の一つである盆踊りを体験させてあげたい、地域の人との触れ合いをもたせてあげたいと始められた「秩父音頭まつり」への参加。家元金子道場で猛練習、浴衣に着替えて、8月14日祭りに参加しました。地元の先生の指導も良く今年は見事「特別賞」を受賞する事ができました。

猛暑の中での猛練習、額に汗して「秩父音頭まつり」のコンクールに「国際ロータリー　米山記念奨学生チーム」の提灯を先頭に、踊り人として参加。笑顔溢れる一夜は留学時代の忘れられない体験になったと思います。踊りに参加した奨学生、学友、ロータリアンに心から感謝致します。　　記：井上　豊

第2570地区 初の「ロータリーの友セミナー」開催報告

ロータリーの友地区代表委員　**磯田　力彦**（新所沢）

当地区にとって初めての「ロータリーの友セミナー」を、2012年８月29日(水)嵐山町 国立女性教育会館において開催致しました。埼玉県が二地区に分かれ2570地区が誕生した1988年以来、友誌に関するセミナーはありませんでした。この度、関係の皆様方のご協力のもと、何とか開催にこぎつけられた事、そして無事に所期の目的が達成できた事を嬉しく思っております。

“読まれざるベストセラー“などと揶揄されている我々の為の機関紙「ロータリーの友」を、このセミナーを契機に“読んで為になる友誌”、”活用して意義のある友誌“となるよう、様々な工夫を施して研修に臨みました。しかし我々セミナーを運営する立場からしますと、まだまだ手探りしつつで改善の余地がある事を感じた次第です。ただ参加の方々の中には結構ロータリーに対する意識の高い方も多数いらっしゃるわけで、このようなセミナーを繰り返すことで、全体の意識は向上するに違いないと考えています。今回は第１回目のセミナーですから大きな成果を期待するのはこれからでしょう。

それでは当日のセミナーの状況ですが、地区内各クラブから47名の参加の皆様、地区役員23名、合計70名の方々にご参集頂き開催致しました。

先ず、鈴木秀憲ガバナーの挨拶、西川武重郎研修リーダーの12地区合同プログラム「ロータリー希望の風奨学金」の説明と基金のお願いという事で挨拶を頂き、その後、加藤玄静PG(元一般社団法人ロータリーの友理事・顧問)より今回の友セミナーに関する趣旨説明及び「ロータリーの友」の変遷について貴重な話をして頂き、参加者も友誌の歴史を理解してもらえたと思っております。

前半のメイン行事は一般社団法人ロータリーの友編集長二神典子様の「ロータリーの最大情報誌の活用について」の基調講演でした。二神様には超多忙のスケジュールの合い間を縫って今回当地区セミナーに駆けつけて頂きました。ご存知のように友誌は全国34地区を対象にしたロータリーにとって重要な情報誌です。その友誌を編集する立場の二神様の話は明快にして、説得力のあるものでした。ロータリー全般の多岐に亘る生の新情報、友誌の編集における考え方等、大変に参考になったと思います。また、セミナー後半のRLIグループ討議との兼ね合いでご配慮頂いた事も合せ感謝申し上げます。

後半のRLI方式グループ討議は地区内でも屈指のDL講師５名の方々がそれぞれ５グループに分かれて行いましたが、DL陣の質問に対し活発な意見の表明があり成功であったと思っています。やはり、講演者のスピーチを聞いて帰るだけのセミナーでは研修効果は少ないわけで、できるだけ参加者が自身の考えを発する機会を増やすべきでしょう。またこちらで用意した設問に含まれる友誌に関する事項を理解して頂けた事と思います。

結びに大変にご苦労をおかけしましたDL講師の方々に敬意を表し、お名前を掲載させていただきます(敬称略)。

浅田　進(本庄南)、　栗山　昇(朝霞)、
弓田勝俊(越生毛呂)、古屋一生(熊谷西)、
小池貞作(寄居)、　細井保雄(行田さくら)

表　彰

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

宮岡　実
（所沢西RC）

内田　学
（所沢西RC）

久保田　一男
（川越中央RC）

中野　俊明
（川越中央RC）

松本　仙太郎
（富士見RC）

阿部　晋一郎
（富士見RC）

斉藤　重治
（富士見RC）

塩野　芳雄
（富士見RC）

栗原　平
（富士見RC）

斎藤　正司
（富士見RC）

ポール・ハリス・フェロー

山崎　正博
（川越中央RC）

吉田　健
（飯能RC）

米山功労者

9回
長岡　倉雄
（皆野・長瀞RC）

6回
栗原　宏介
（朝霞RC）

5回
池田　友成
（朝霞RC）

4回
遠藤　松太郎
（朝霞RC）

3回
醍醐　治江
（志木柳瀬川RC）

2回
間邉　元幸
（飯能RC）

新入会員のご紹介

（川越RC）

宰務　伸也
三菱東京ＵＦＪ銀行 川越支社
支社長
（紹介者）小髙　章、一川　宏也

（入間RC）

木下　登
木下電機(株)
代表取締役
（紹介者）齋藤　栄作

（鶴ヶ島RC）

松本　君夫
(株)松本トラスト
代表取締役
（紹介者）中嶌　清

（熊谷RC）

山下　知己
㈱ハーフ・センチュリー・モア　サンシティー熊谷
支配人(取締役)
（紹介者）大澤　孝至、飯島　賢二

第２回会員増強セミナーのご案内

日時：10月20日（土）
場所：ホテル紫雲閣（東松山市）
講演：第1ゾーン・ロータリー財団地域コーディネーター
中村　靖治補佐

会員増強はロータリーにとっての優先課題、あるいは永遠の課題と言われております。拡大・増強月間が終わりましたが、各クラブにおきましては引き続き、新会員の入会を目指してご努力をされていることでしょう。第2570地区では年度当初に比較して20名の会員増強が実現しております。

10月20日（土）には、第２回会員増強セミナーを開催致します。今回はRI第2770地区のパストガバナーであり、RI研修リーダーとRLI日本支部委員等を歴任され、今年度は第１ゾーン・ロータリー財団地域コーディネーター補佐である中村靖治様に基調講演をして頂く予定です。また第１回会員増強セミナーでRLI方式によるセッションをして頂きましたが、そこで頂いたご意見を整理して、前地区研修委員長の加藤玄静様に講評をして頂きます。更に９月13日に開催されましたゾーンセミナーの報告も致します。

会員増強をする上で大変参考になる企画に致しました。ご多用かと存じますが、会長・会長エレクト、会員増強担当役員にご出席頂き、会員増強に役立てて頂きたいと思います。

2015～2016年度 ガバナー・ノミニー候補者の推薦について

国際ロータリー細則第13条（ガバナーの指名と選挙）の13.010（ガバナー・ノミニーの選出）は「地区はノミニーをガバナーとして就任する日の24ヵ月以上、36ヵ月以内に選出するものとする」と規定しています。このため、国際ロータリー第2570地区は当地区に所属するクラブに対して、当地区事務所（東松山市紫雲閣内）に2015～2016年度ガバナー指名案を2013年1月15日までに提出するよう要請致します。

なお、クラブより推薦される2015～2016年度ガバナー候補者は国際ロータリー細則15.070（ガバナー・ミニーの資格要件）の各項の要件を備えた会員でなければなりません。

また、地区ガバナー指名委員会が地区ガバナー・ノミニーの選出を行うに当たっては、その選出の範囲は、細則13.020.5（委員会による最適任のロータリアンの指名）で規定される通り、地区内クラブによって提案された氏名に限定されるものではありません。予めご了承願います。

国際ロータリー第2570地区
2012～13年度ガバナー　鈴木　秀憲

編集部から

お詫びと訂正:

※「７月の出席率・会員数報告」において、当クラブの７月退会者数を「0」のところ「9」と入力ミスをしてしまい、地区合計に大きな間違いが生じ、各方面にご迷惑をおかけ致しました。訂正してお詫び申し上げます。正しくは、地区ＨＰを再度ご参照下さい。　狭山中央ＲＣ

10・11月のスケジュール

10月

2	火	（公式訪問）入間南
3	水	（公式訪問）熊谷東
4	木	（公式訪問）坂　戸
5	金	（公式訪問）富士見
9	火	（公式訪問）日　高
10	水	（公式訪問）志　木
11	木	（公式訪問）志木柳瀬川
12	金	（公式訪問）深谷東
15	月	（公式訪問）児　玉
17	水	（公式訪問）岡　部
18	木	（公式訪問）所沢東
20	土	第２回クラブ奉仕会員増強セミナー（ホテル紫雲閣）
22	月	（公式訪問）所沢中央
23	火	（公式訪問）所沢西
24	水	（公式訪問）新座こぶし
25	木	（公式訪問）皆野長瀞
28	日	第２回米山記念奨学部門セミナー（ホテル紫雲閣）
29	月	（公式訪問）深谷ノース
31	水	（公式訪問）熊谷籠原

11月

6	火	（公式訪問）川　本
7	水	（公式訪問）坂戸さつき
13	火	（公式訪問）狭山中央
14	水	（公式訪問）熊谷南
20	火	（公式訪問）吹　上
25	日	RYLA Day（ホテル紫雲閣）

ロータリー川柳

艶ばなし　小耳にはさむ　例会場
大野　快三　（入間南）

会長も　川柳もまだ　アイウエオ
土田　義人　（入間南）

居心地の　良さを目標　ロータリー
清水　孝男　（行田さくら）

水打って　涼しさ願ふ　エコの夏
土屋　武義　（入間南）

良い風を　吹かす活動　ロータリー
清水　孝男　（行田さくら）

ニコ〳〵と　出す基金には　税は無い
小澤　誠邦　（行田さくら）

8月の出席率・会員数報告

	クラブ名	例会数	出席率（%） 当月	出席率（%） 通算	会員数（人） 年初（7／1）	8月末現在	8月入会数	8月退会者	本年度入会数	本年度退会者	8月度純増数	本年度純増数	女性会員
第1グループ（11RC）	川越	3	80.5	84.7	86	87	0	0	1	0	0	1	0
	東松山	3	81.7	81.4	33	33	0	0	0	0	0	0	1
	小川	4	70.5	65.9	12	12	0	0	0	0	0	0	1
	坂戸	4	85.2	90.3	25	25	0	0	0	0	0	0	0
	越生毛呂	3	81.8	82.7	26	26	0	0	0	0	0	0	3
	川越小江戸	4	95.2	95.5	14	14	0	0	0	0	0	0	0
	川越西	4	90.0	85.7	15	15	0	0	0	0	0	0	0
	鶴ヶ島	3	83.0	85.0	25	26	1	0	1	0	1	1	2
	川越中央	3	89.9	87.5	31	34	0	0	3	0	0	3	0
	坂戸さつき	3	80.0	75.5	20	20	0	0	0	0	0	0	4
	東松山むさし	3	89.0	88.5	36	36	0	0	0	0	0	0	4
	小計		84.3	83.9	323	328	1	0	5	0	1	5	15
第2グループ（8RC）	朝霞	3	94.7	92.3	33	33	0	0	0	0	0	0	0
	志木	4	91.3	94.2	49	49	0	0	0	0	0	0	0
	富士見	4	88.2	89.8	49	49	0	0	0	0	0	0	0
	新座	4	88.8	91.9	26	26	0	0	0	0	0	0	2
	和光	4	82.1	79.7	20	20	0	0	0	0	0	0	2
	朝霞キャロット	3	83.0	89.6	13	14	1	0	1	0	1	1	0
	志木柳瀬川	4	91.7	91.7	12	12	0	0	0	0	0	0	4
	新座こぶし	15	86.7	85.0	15	15	0	0	0	0	0	0	3
	小計		88.3	89.3	217	218	1	0	1	0	1	1	11
第3グループ（12RC）	入間	4	82.0	84.1	39	40	0	0	1	0	0	1	1
	所沢	3	90.0	87.2	59	59	0	0	0	0	0	0	4
	飯能	4	91.2	90.7	54	54	0	0	0	0	0	0	0
	狭山	4	100.0	100.0	17	17	0	0	0	0	0	0	0
	新所沢	3	85.1	85.5	19	19	0	0	0	0	0	0	1
	日高	3	81.5	82.4	25	24	0	0	0	1	0	-1	3
	所沢西	3	86.0	85.9	38	38	0	0	0	0	0	0	1
	新狭山	3	91.3	91.8	23	23	0	0	0	0	0	0	0
	所沢東	4	88.1	85.7	37	39	0	0	2	0	0	2	3
	入間南	3	95.2	96.3	39	40	0	0	1	0	0	1	0
	所沢中央	3	96.0	93.6	37	38	0	0	1	0	0	1	0
	狭山中央	3	86.9	86.2	29	30	0	0	1	0	0	1	4
	小計		89.5	89.1	416	421	0	0	6	1	0	5	17
第4グループ（11RC）	深谷	3	84.5	82.6	57	58	0	0	1	0	0	1	9
	本庄	4	85.8	84.8	73	73	0	0	0	0	0	0	7
	秩父	3	82.7	82.3	50	51	0	0	1	0	0	1	0
	寄居	4	83.6	81.3	38	38	0	0	0	0	0	0	0
	児玉	3	76.7	80.0	9	10	1	0	1	0	1	1	0
	岡部	3	83.0	79.0	18	18	0	0	0	0	0	0	2
	深谷東	4	71.5	70.8	71	72	1	0	1	0	1	1	0
	川本	3	85.0	85.0	11	11	0	0	0	0	0	0	0
	皆野・長瀞	4	86.5	86.9	12	13	0	0	1	0	0	1	1
	本庄南	3	82.5	82.7	20	20	0	0	0	0	0	0	0
	深谷ノース	3	64.0	75.4	33	34	0	0	1	0	0	1	0
	小計		80.5	81.0	392	398	2	0	6	0	2	6	19
第5グループ（10RC）	熊谷	4	76.8	78.2	89	91	2	0	2	0	2	2	3
	行田	4	72.3	76.0	55	56	1	0	1	0	1	1	4
	羽生	3	77.0	75.4	42	43	0	0	1	0	0	1	4
	加須	4	88.5	85.1	37	37	0	0	0	0	0	0	1
	熊谷西	3	67.5	66.6	13	13	0	0	0	0	0	0	0
	行田さくら	3	74.3	77.0	42	42	0	0	0	0	0	0	0
	熊谷東	4	90.6	91.8	31	32	0	0	1	0	0	1	2
	吹上	3	94.4	93.0	12	12	0	0	0	0	0	0	0
	熊谷籠原	4	90.7	92.6	27	27	0	0	0	0	0	0	0
	熊谷南	4	61.0	60.3	25	26	0	0	1	0	0	1	1
	小計		79.3	79.6	373	379	3	0	6	0	3	6	15
52RC	クラブ会員数		84.3	84.5	1721	1744	7	0	24	1	7	23	
	女性会員数				74	77	1	0	3	0	1	3	

川越まつり

～国指定重要無形民俗文化財～

慶安元年(1648)、川越城主松平伊豆守信綱が、氷川神社に神輿・獅子頭・太鼓などの祭礼具を寄進し、祭礼を奨励したのが現在の「川越まつり」の起源です。

慶安４年(1651)には、氷川神社の神輿行列が氏子の町々を渡御(とぎょ)し、町衆も随行するようになり、「神幸祭(しんこうさい)」の始まりとなりました。元禄11年には、氏子域である川越城下十ヶ町のひとつ高沢町で、江戸の祭礼に倣い、踊り屋台が披露されました。当時踊り屋台は、江戸祭礼の花形でした。

川越では、新河岸川の舟運によりリアルタイムに江戸の流行が取り入れられ、徐々に祭礼が発展していきました。文化文政年間(19世紀前半)には、「祭礼中に屋台が出会った時には囃子を行うこと」や、一部の山車に囃子が付いているなど、この頃の申し合わせやしきたりの多くが、現在の祭礼儀式のルーツとなったと考えられます。

その後、明治42年の深川祭りを契機に、江戸の祭りの主役が山車から町神輿へと変わり、大規模な山車巡行が事実上途絶えたのと対照的に、川越まつりは東日本屈指の山車行事として発展を続け、平成17年、「川越氷川祭の山車行事」は国指定の重要無形民俗文化財となりました。

最高の盛り上げを見せる「川越まつり」の山車の姿をご覧になってみませんか?

川越まつりは、氷川神社の祭祀である「例大祭」とそれに続いて行われる「神幸祭」と「山車行事」の三部から構成されています。例大祭は毎年10月14日に行われ、氷川の神様が神輿にお乗りになり川越城下を巡行なさる神幸祭は、翌15日。山車行事は15、16両日行われてきましたが、最近では、例大祭以外の行事は土曜日、日曜日にかけて行われるようになっています。今年は10月20・21日に行われます。なかでも山車行事の中の「曳っかわせ」は最大の見どころです。向かい合う数台の山車が、囃子で競い合い、歓声を上げます。

表紙写真:副幹事・斎藤　恒(行田さくら)

取材協力:社団法人小江戸川越観光協会 川越氷川神社　文:副幹事・小菅 克祥(行田)

ガバナー月信　第4号

2012年10月1日発行

今月の表紙:

職業奉仕部門委員長	職業奉仕委員長	高校生社会体験活動委員長
細井 保雄	**田代 充雄**	**五十嵐 敦子**

2012−2013年度ガバナー　**鈴木　秀憲**

国際ロータリー第2570地区　地区事務所

〒355-0028　埼玉県東松山市箭弓町２丁目５番14号　紫雲閣３Ｆ

TEL (0493)21−2570　E-mail＝d-office@mail.rid2570.gr.jp

FAX (0493)21−2571　Website＝http://www.rid2570.gr.jp/2012/